

都市計画道路 奈良橿原線 の都市計画の変更概要

(都) 奈良橿原線 (JR 奈良駅東口駅前広場) の概要

(都) 奈良橿原線は、起点を奈良市油阪町、終点を奈良市今市町とする奈良市中心部を南北に縦断する延長4,260mの幹線道路として都市計画決定した路線であり、国道369号、県道奈良生駒線、県道京終停車場薬師寺線、(都)大和田紀寺線、(都)九条線と連結し、市内中心部の交通機能を支える重要な役割を担っています。本路線は、昭和8年に都市計画決定、昭和48年に現在の都市計画線に変更し、また、昭和63年にJR奈良駅東口駅前広場を現在の都市計画線に変更を行いました(下図の黄色で囲まれているのが現在の都市計画の区域)。

現在の都市計画

【区間】

(自) 奈良市油阪町

(至) 奈良市今市町

【延長】

約4,260m

【車線数、標準幅員】

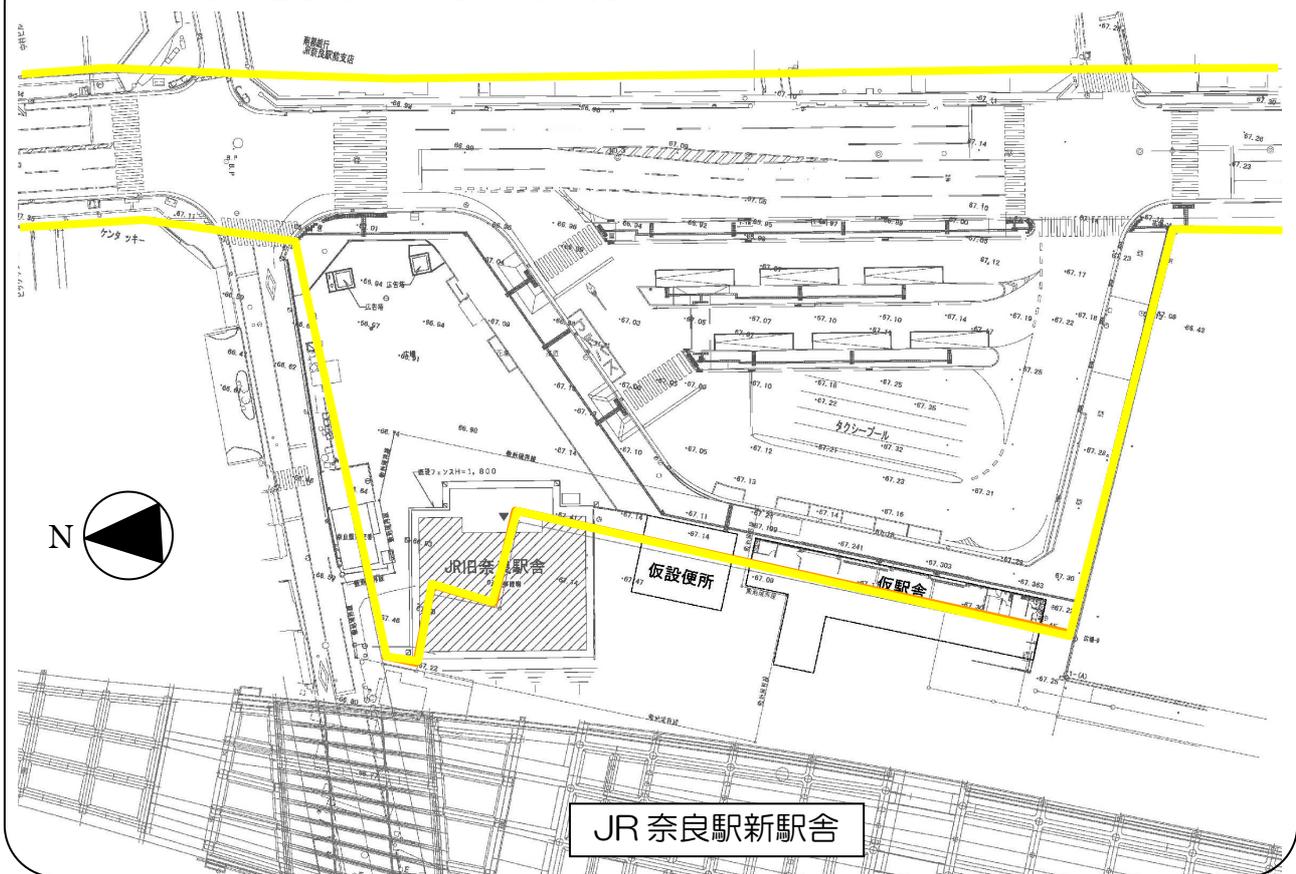
車線数 : 2車線

標準幅員 : 16m

【駅前広場】

約6,700㎡ (JR奈良駅東口駅前広場)

□ (都) 奈良橿原線の都市計画線と現在の状況



都市計画の変更理由

JR奈良駅付近連続立体交差事業による、鉄道の高架化に伴い発生する高架下空間の利用計画が固まった現時点において、将来の駅前広場の利用者数や利用形態を踏まえた交通空間や、国際文化観光都市の玄関口として必要な環境空間を駅前広場に創出するため、新たな区域を追加する都市計画の変更をします。

現状における課題

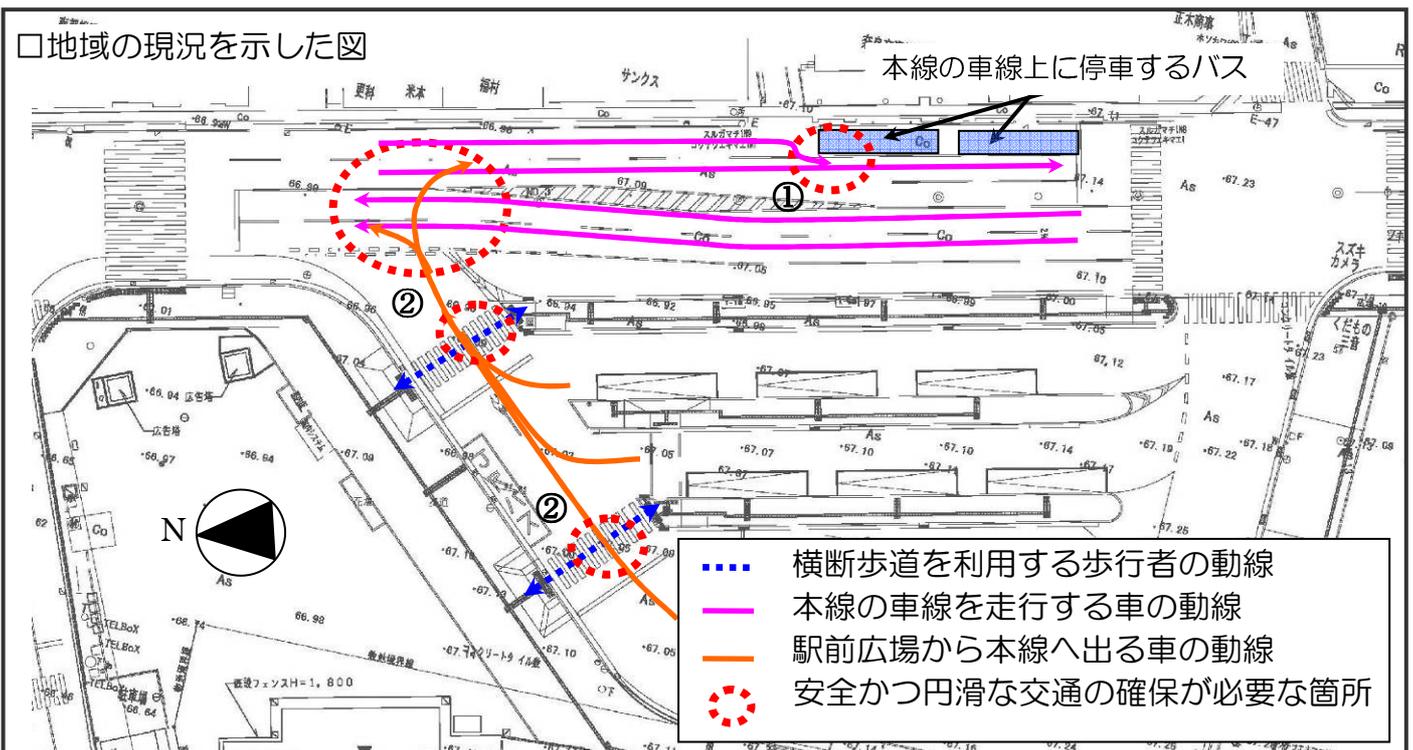
①バスが本線の車線上に停車し、直進車の交通を妨げ、安全かつ円滑な交通の確保が課題となっています。



②広場出口が JR 奈良駅前交差点（三条通との交差点）に近く、信号が設置されていないため、広場から南方面へ向かう車が北方向車線の車と交差し安全かつ円滑な交通の確保や、信号が設置されていない横断歩道の歩行者の安全が課題となっています。



□地域の現況を示した図



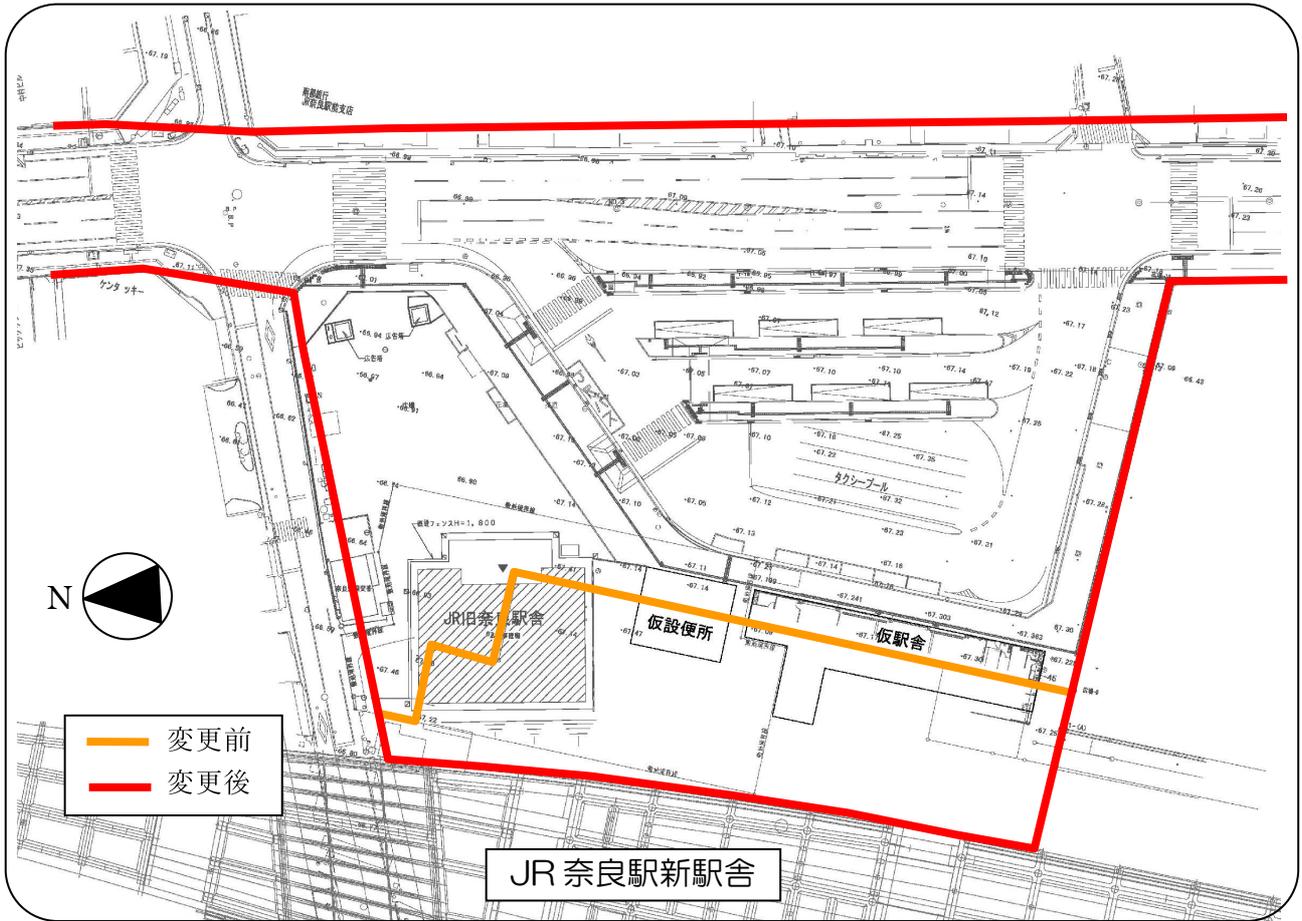
都市計画変更の内容

将来におけるJR奈良駅東口駅前広場の利用者数や利用形態、現状における課題を踏まえて、必要な交通空間や環境空間の配置を行い、新たな区域を追加しました。

駅前広場の面積 (変更前) 約6,700㎡
→ (変更後) 約8,900㎡

□ 新旧対照図 (参考図)

【縮尺1/2,500の地形図に変更後の区域を表示した図面が法定図書となります】

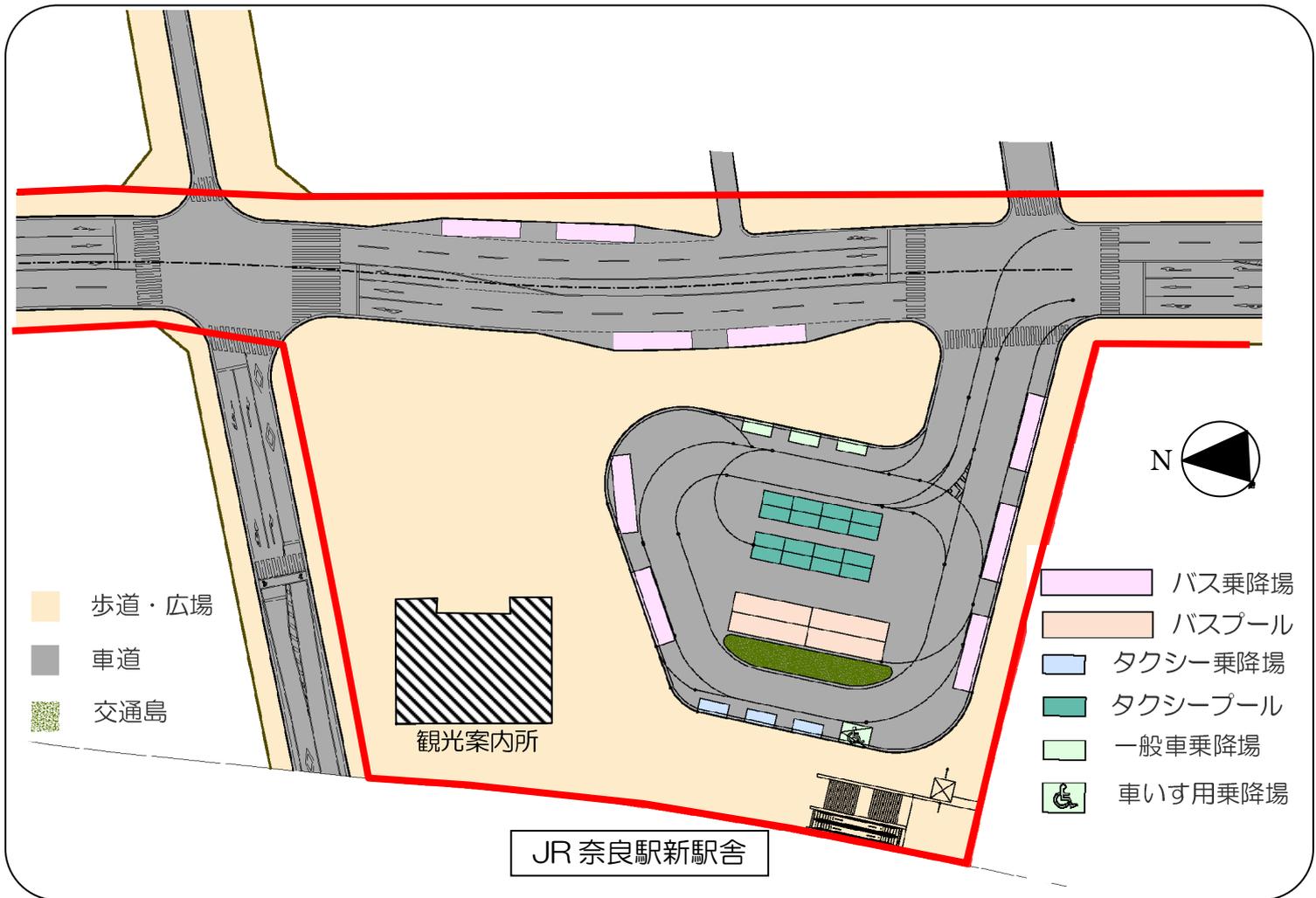


(参考) 将来における東口、西口駅前広場の交通施設数

施設	東口	西口	合計
バス乗降場	9 [※]	7	16
バスプール	4	8	12
タクシー乗降場	3	3	6
タクシープール	16	30	46
一般車乗降場	3	4	7
車いす用乗降場	1	1	2

※本線上に設けるバス乗降場も含む。

□計画平面図（参考図）



JR 奈良駅東口駅前広場の整備効果

【交通安全の確保】

駅前広場と県道木津横田線（（都）奈良橿原線）の出入り口を南側の信号交差点1箇所に集約し、また、本線上に走行車道とは別にバス乗降場を確保し、交通流の円滑化を図ります。

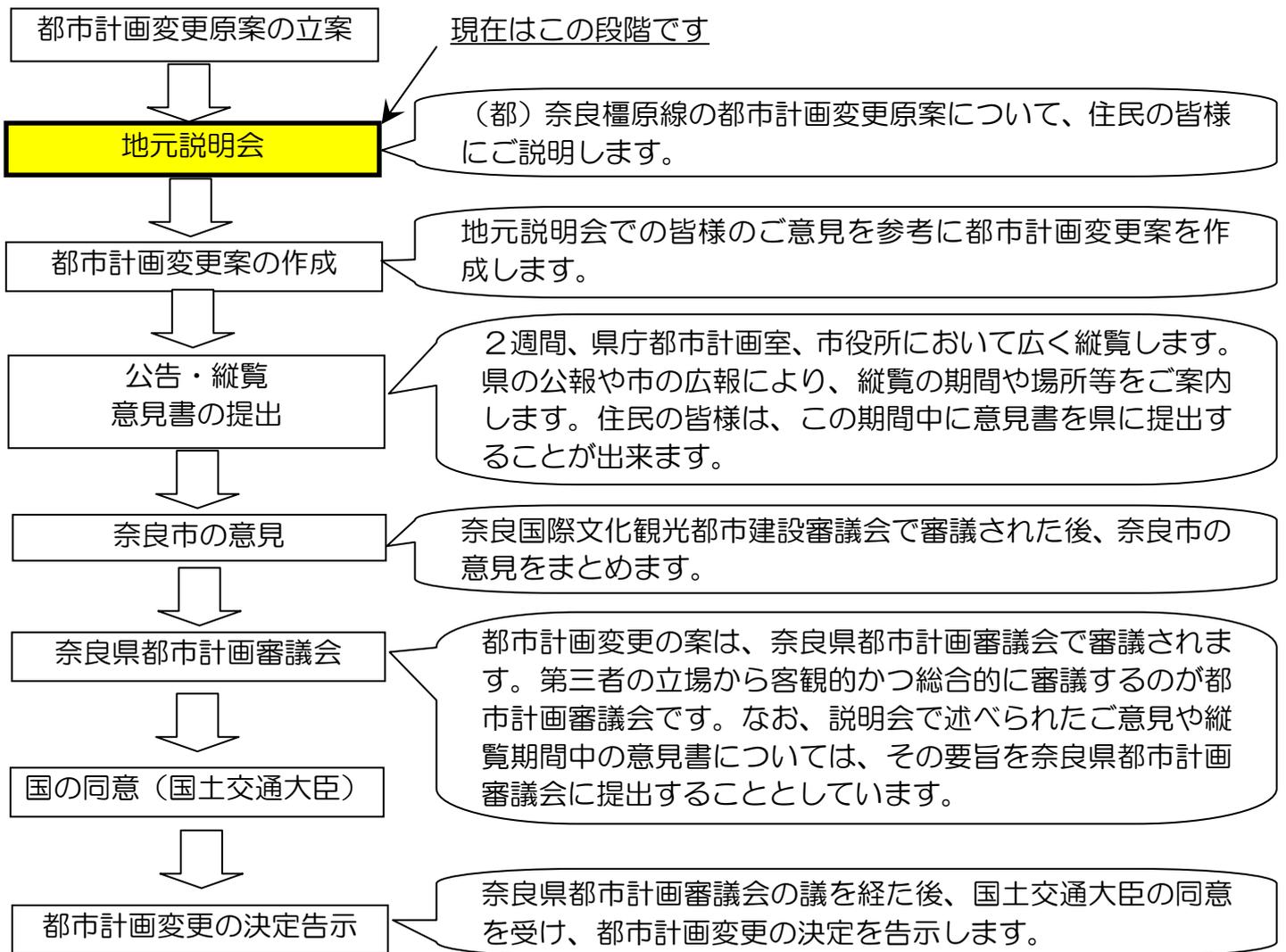
【交流の充実】

国際文化観光都市の玄関口にふさわしい環境空間を確保し、憩い・集いの場を創出することで、交流機会が増大します。

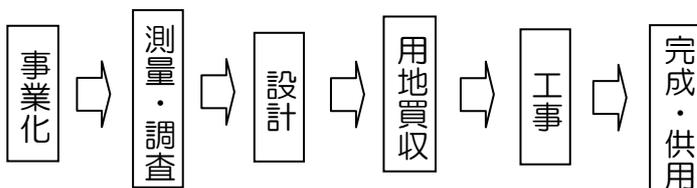
都市計画で定める内容

- 縮尺2500分の1の地図上に、位置および区域を定めます。
- 道路の幅員、車線数及び道路構造の基本的な形式（高架、平面などの別）を定めます。

都市計画の手続き



都市計画決定後の流れ



※ 事業を進めていく中で、必要な段階で地元説明会等を通じて、住民の皆様にご情報提供するように努めてまいります。

パンフレットについてのお問い合わせ先

※奈良橿原線の都市計画変更について

奈良県土木部まちづくり推進局地域デザイン推進課都市計画室

TEL：0742-27-7520（直通）

ホームページ http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-4185.htm

奈良市都市整備部都市計画室都市計画課

TEL：0742-34-1111（内線3313）